

## 第3章

# 公害苦情の状況

## 第3章 公害苦情の状況

### (1) 苦情処理の状況

苦情件数は374件で、前年度の463件から89件、比率では19.2%減少した。

### (2) 種類別の苦情件数

典型7公害の種類別の苦情件数は、大気汚染58件(15.5%)、水質汚濁13件(3.5%)、騒音75件(20.1%)、振動18件(4.8%)、悪臭47件(12.6%)だった。

典型7公害以外の苦情内容と件数は、雑草119件(31.8%)が最も多く、側溝などから発生する不快害虫のユスリカ関係の相談が続いて23件(6.1%)と続き、この二種類で典型7公害以外の苦情のほとんどを占める。

種類別苦情件数は、図3-1のとおりである。

### (3) 用途地域別の苦情件数

用途地域別の苦情件数を見ると、市街化調整区域が205件(54.8%)で最も多く、準工業地域の84件(22.5%)、住居地域が47件(12.6%)と続いた。

用途地域別苦情件数は、図3-2のとおりである。

### (4) 月別の苦情件数

月別の苦情件数は、9月が47件(12.6%)、6月が46件(12.3%)、10月が40件(10.7%)だった。

令和3年度の月別苦情件数は、表3-1のとおりである。

### (5) 典型7公害の発生源別苦情件数

発生源別の苦情件数を見ると、建設業38件(18.0%)、製造業30件(14.2%)が特に多い。

典型7公害の発生源別苦情件数は、表3-2のとおりである。

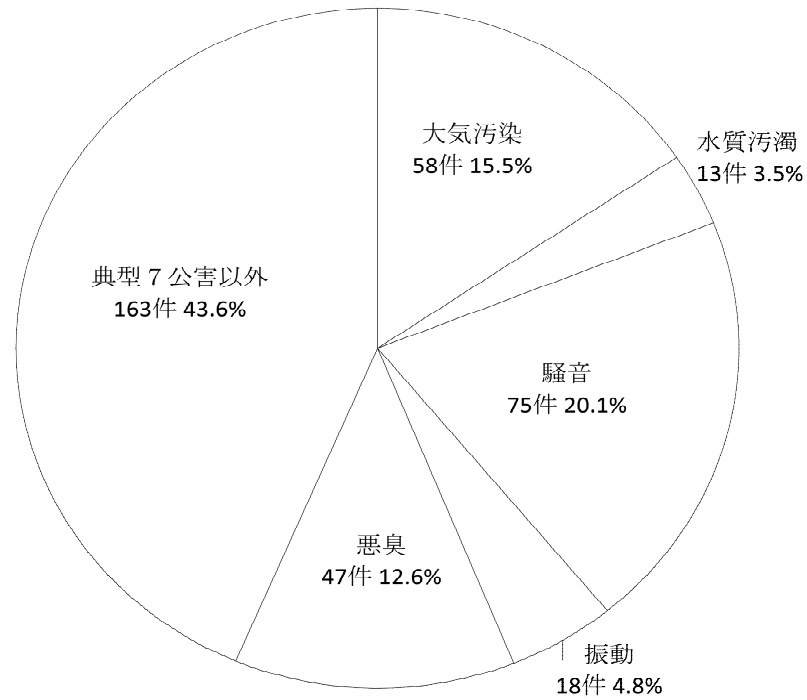


図 3-1 種類別の苦情件数(令和 3 年度)

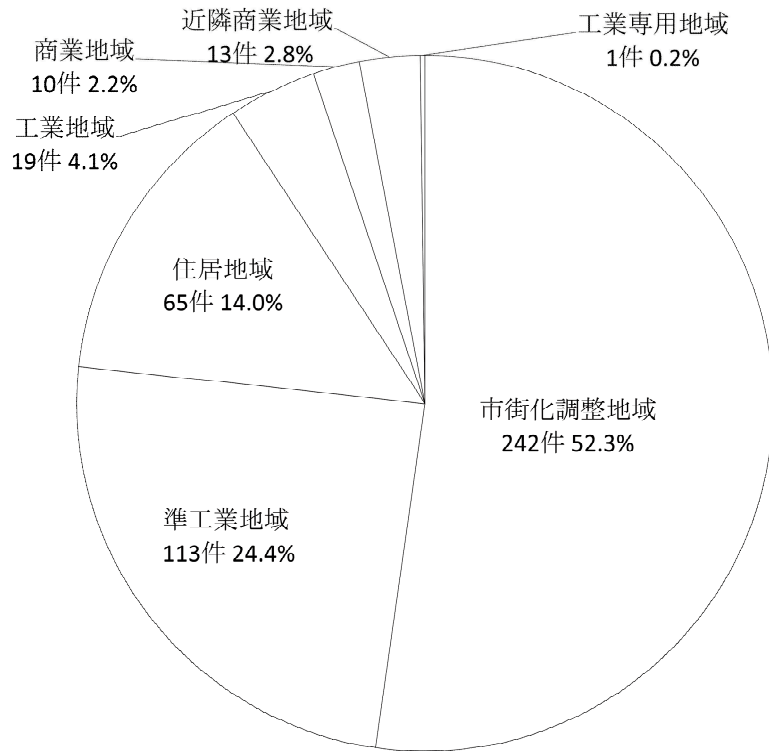


図 3-2 用途地域別の苦情件数(令和 3 年度)

表 3-1 月別の苦情件数(令和 3 年度)

(件)

種類 月	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	計	月別比率 (%)
4	3	0	12	3	4	13	35	9.4
5	4	2	6	2	2	18	34	9.1
6	2	1	11	0	8	24	46	12.3
7	3	0	2	0	4	25	34	9.1
8	3	0	6	1	5	21	36	9.6
9	10	0	5	0	6	26	47	12.6
10	8	2	10	1	5	14	40	10.7
11	5	3	7	4	9	6	34	9.1
12	4	3	5	0	0	2	14	3.7
1	8	0	4	0	3	3	18	4.8
2	5	0	4	2	0	3	14	3.7
3	3	2	3	5	1	8	22	5.9
計	58	13	75	18	47	163	374	100.0
比率 (%)	15.5	3.5	20.1	4.8	12.6	43.6	100.0	

表 3-2 典型 7 公害の発生源別の苦情件数(令和 3 年度)

(件)

区 分	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒 音	振 動	地盤沈下	悪 臭	合計
農業、林業	2	0	0	0	0	0	3	5
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱業、砕石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	8	1	0	35	7	0	1	52
製造業	4	2	0	20	3	0	11	40
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業、郵便業	0	0	0	6	0	0	0	1
卸売業、小売業	1	0	0	0	0	0	4	5
金融・保険業	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産業、物品賃貸業	0	0	0	4	0	0	1	5
学術研究、専門・技術サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0
宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	8	0	0	1	9
生活関連サービス業、娯楽業	0	1	0	4	0	0	0	5
教育、学習支援業	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	0	0	0	1	0	0	0	2
複合サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業(他に分類されないもの)	3	0	0	5	0	0	5	13
公務(他に分類されるものは除く)	0	0	0	1	0	0	0	1
分類不能の産業	1	0	0	3	0	0	0	4
個人	20	0	0	0	0	0	6	26
不明	57	6	0	12	2	0	10	87
合 計	96	10	0	99	12	0	42	259